

科目名 単位・時間	老年看護学 (5単位 180時間)		対象者	24期生・25期生	
担当講師名	第二看護学科 専任教員 (臨床経験有) 非常勤講師 キッコーマン総合病院看護部長 老人看護専門看護師 非常勤講師 柏市立柏病院 看護師長 非常勤講師 柏市立柏病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 非常勤講師 認知症認定看護師		年次・時期	1年次～2年次	
概要	<p>老年看護学は、高齢者 (家族も含める) が健康を維持・回復・増進し、その人らしくよりよく生活できることを支えることが重要です。老年看護学は、老年看護学概論・老年看護学援助論Ⅰ・老年看護学援助論Ⅱで構成されています。</p> <p>老年看護学概論では、ライフサイクルにおける老年期の対象を捉え、加齢に伴う変化の特徴や生活機能、保健・医療・福祉の視点から高齢者に対する理解を深めていきます。</p> <p>老年看護学援助論Ⅰでは、健康障害のある高齢者の主な疾患と症状について理解し、さまざまな健康状態にある高齢者の看護について学びます。</p> <p>老年看護学援助論Ⅱでは、既習学習を活かし、老年期にある対象の特徴に応じた看護の展開技術について学びます。</p> <p>講義は、5年以上の臨床経験をもつ当校の専任教員が担当し、看護実践力・教育実践力を維持向上するために研修に参加しています。講師は、老人看護専門看護師、認知症認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師が担当します。</p>				
科目構成	科目名	老年看護学概論	老年看護学援助論Ⅰ	老年看護学援助論Ⅱ	
	単位時間	1単位 30時間	1単位 30時間	1単位 30時間	
	学習範囲	1. 老年期の対象理解 2. 加齢に伴う機能の変化 3. 高齢者をとりまく社会 4. 生活機能からの視点の看護 5. 老年看護の基盤 6. 老年看護における倫理的課題 7. 療養の場の移行期における支援	1. 健康障害のある対象の捉え方 2. 健康障害のある高齢者の主な疾患と症状の看護	1. 高齢者の特徴を活かした看護	
	科目名	老年看護学実習			
	概要	<p>老年看護学実習は、加齢に伴う機能低下や健康障害のある老年期の患者とその家族を理解し、生活の質を考慮した個別性のある看護を実践できる基礎能力を養う実習です。</p> <p>実習場所は、キッコーマン総合病院・柏厚生総合病院・柏市立柏病院です。</p> <p>高齢者は、これまで築いてきた生活史や生活習慣、価値観などさまざまで、複数の疾患に罹患しています。加齢に伴う変化や疾患や治療が及ぼす影響・合併症を予測していく必要があります。</p> <p>その人が望む生活に向け、持てる力を活用し、生活機能の維持・向上に向けた看護を実践していきます。</p> <p>老年看護学実習では、当校専任教員が指導にあるとともに、キッコーマン総合病院・柏厚生総合病院・柏市立柏病院の臨床指導者及びスタッフが指導にあたります。</p>			